

選者：金原瑞人さん（大学教授、翻訳家）

テーマ①：心に残っている本

◆幅広い世代に向けて、これまでご自身が読んだ本の中から心に残っている作品を教えてくださいました。

1. 『西遊記』 吳承恩/作 中野美代子/訳 岩波書店 2005

◆言わずと知れた中国、明代の傑作。幻術を自在に使う暴れん坊の猿を主人公にしたファンタスティックな冒険小説。子どもむけに、岩波少年文庫版、青い鳥文庫版などが出ているほか、斉藤洋も翻案している。きちんとした全訳としては、中野美代子の岩波文庫版が定番かな。あと、邱永漢の翻案『西遊記』も忘れられない。その他、コミックでは、ぼくの愛してやまない『西遊妖猿伝』（諸星大二郎）のほか、古くは手塚治虫、永井豪から、寺田克也、峰倉かずやまで、多くのマンガ家が手がけている。どれでもいいから読んでみて。

2. 『一千一秒物語』 稻垣足穂/著 新潮社 1981

◆大正時代にこんなファンタスティックで、おしゃれで、ストイックで、詩的で、モダンなショートショートが書かれていたとは！ ダダイズムとかシュールレアリスムとか難しいことをいう人がいるけど、すべて聞き流して、とにかくこれを手に取って、どこでもいいから開いてみてほしい。宇宙が茶目っ気たっぷり、おいでおいでをしているから。

3. 『豊饒の海』 4部作 三島由紀夫/著 新潮社 2002-2003

◆高校生になった頃、姉の本棚で見つけたのが第一部の『春の雪』。難しい文章だなあとと思いながら、なんとか最後まで読んで、なんとなく面白かった。その後、三島由紀夫が死んで、第四部の『天人五衰』が出たので、すぐに読んで、エンディングに感動。こんな終わり方があるんだと思った。その後、第二部の『奔馬』、第三部の『暁の寺』を読み、しばらくは毎年、どれかを読み直していたと思う。一度はまると、なかなか抜け出せない世界。

4. 『マダム・エドワルダ 目玉の話』 バタイユ/著 中条省平/訳 光文社 2006

◆高校生の娘から電話があり、いきなり「パパさん、バタイユの『眼球譚』って読んだ？」ぼくが読んだのは、大学院を出た頃だと思う。とにかく、ヤバくてエロくて、暴力的でばかばかしいんだけど、どこか突き抜けていて、よくこんな小説を書くなあと驚いたのをよく覚えている。眼球・卵・鞆丸（目玉・玉子・金玉）の三位一体のナンセンスなポルノ。ぼくが最初に読んだのは生田耕作訳の『眼球譚』だけど、いま読むなら、中条省平訳の『マダム・エドワルダ / 目玉の話』がいいと思う。

5. 『月と六ペンス』 サマセット・モーム/著 金原瑞人/訳 新潮社 2014

◆新潮社の文庫の編集者から、「いわゆる古典小説で訳し直したい（新訳で出したい）作家がいますか」ときかれて、ヘミングウェイ、カーソン・マッカーズ、カポーティなんかをあげたのだが、結局、モームに落ち着いた。『モーム傑作選 シゴロとシゴレット』『英国諜報員アシェンデン』『人間の絆』などを訳すことになるのだが、やはり一番人気はこれ。それにしても、モームはいやな人間を描くのがめっほうまい。

6. 『幻の女』 ウィリアム・アイリッシュ/著 黒原敏行/訳 早川書房 2015

◆何かミステリを1冊と思って、あげてみました。というのも、中高の頃から翻訳物のSF、ミステリが好きでよく読んでいたからです。妹はクリスティ推しでしたが、ぼくはウィリアム・アイリッシュ（コーネル・ウールリッチ）推し。アイリッシュは短編もいいのですが、まず有名なところでこれかな。いま読むと冗長な感じもするのですが、なにより雰囲気がいい。ノスタルジックな雰囲気の漂うクラシックなミステリ。

7. 『さよなら、シリアルキラー』 バリー・ライガ/著 満園真木/訳 東京創元社 2015

◆主人公は、過去21年間で123人を殺し、終身刑32回を宣告されて、刑務所に服役中のピリー・デント……ではなく、その息子、高校生のジャズ。ジャズは小さい頃から、犠牲者の選び方、殺し方、証拠の消し方などを教えこまれて育つのだが、いまでは父親を心底憎んでいる。しかし自分も父親の血を継いでいるのではないかと、不安でしょうがない。そんなジャズが、小さな町で起こった連続殺人事件の犯人を追っていく。現代ならではのスピーディでスリリングなヤングアダルト・ミステリの傑作。

8. 『つげ義春作品集』 つげ義春 青林堂 1969 ★

◆これはぜひ、図書館に置いてほしいなという意味で入れました。ぼくが中高生から大学生まで時々、古本屋で買って読んでいた雑誌「ガロ」は、白土三平、水木しげるから、林静一、古屋兎丸、西岡兄妹などユニークなマンガ家やイラストレーターを輩出したので有名だが、つげ義春はとくに面白いし、いまでも学生に人気がある。

9. 『佐々木マキ作品集』 佐々木マキ 青林堂 1970 ★

◆ある学生がこれを借りて行って、次の週、研究室にきて「返さなくていいですか」とたずねた。もちろん、「単位がほしかったら返しなさい」と答えた。それはともかく、佐々木マキはつげ義春と同じく、どこにも属さない奇妙な作品を描いていた。そのあと、村上春樹の小説の表紙を描いたり、『やっぱりおおかみ』などの絵本を描いたりして評判になるんだけど、やっぱり、初期のこのナンセンスを地でいく作品集がぼくは好きです。

テーマ②：教えて！金原先生！！お悩みQ&A

◆ティーンズ世代のお悩みに沿った本を教えてくださいました。

Q1. 勉強することに疲れたら？

A1.『ぜつぼうの濁点』 原田宗典/作 柚木沙弥郎/絵 教育画劇 2006

◆「ぜつぼう」に仕えていた「」は、自分がいるばかりにご主人さまは絶望していて申し訳ないと思ひ、道ばたに捨ててもらおう……けど、だれも拾ってくれない。そんな濁点の気持を想像すると、ちょっと切なく、しかし、可笑しくなってきませんか。疲れも忘れられます。

Q2. 進む道に迷ったら？

A2.『作ろう!フライドチキンの骨格標本 よくわかる恐竜と鳥の骨学入門』

志賀健司/著 江田真毅/監修 小林快次/監修 緑書房 2022

◆骨格標本をフライドチキンで作る方法から、少し本格的な作り方までを紹介しながら、骨の科学も勉強してしまおうという好企画。といっても、骨学の専門家になることを勧めているわけではありません。こんな学問もあるんだ、こんな本もあるんだ、こんな本を書く人もいるんだと思えば、少し目の前が明るくなりませんか。

Q3. 恋に悩んだら？

A3.『恋する寄生虫』 三秋縋/著 KADOKAWA 2016

◆あなたがあの人を好きなのはある種の寄生虫のせい、その寄生虫を駆除しなければ、死んでしまいますといわれたら、どうします？ 本当に、心から、あの人を好きなのに。「好き」とはどういうことなのかを根本から問いかけた作品……という堅苦しいけど、めっぽう切なく、めっぽう魅力的な恋愛小説です。

Q4. 友達との関係に迷ったら？

A4.『それは誠』 乗代雄介/著 文藝春秋 2023

◆「友達とは俺と僕と私だけ」と断言する高校二年生の「僕」が、三人の同級生と過ごした修学旅行の一日を描いた作品。溺れかけているとき、そばにいてほしいのは助けてくれる人か、一緒に溺れてくれる人かという問いが背景に響いている。友人とでなくても、かけがえのない体験を共有することはできるのだ。

Q5. 家族との関係に悩んだら？

A5.『少年は世界をのみこむ』 トレント・ダルトン/著 池田真紀子/訳

ハーパーコリンズ・ジャパン 2021

◆1980年代、オーストラリアの貧民街で暮らす兄弟の物語。父親はいない。母親はドラッグの売買で刑務所。ジャーナリストになりたいと思っているイーライと、6歳からいきなり口をきかなくなった兄のオーガスト（じつは天才）は必死にこの状況から逃れようとする。残酷で暴力的な世界を疾走するふたりがすがすがしい。家族ってなんだよ？

Q6. からだのことで悩んだら？

A6.『どこまでも亀』 ジョン・グリーン/作 金原瑞人/訳 岩波書店 2019

◆アーザは、「人間の五十%は微生物、ということは、人間を作っている細胞のうち約半分は自分じゃない」、「自分はフィクションかもしれない」と思う。そして病的なほど潔癖症で、右手の中指の傷からばい菌がはいつてくるんじゃないかと不安で、そのことを考えだすと、それ以外何も考えられなくなる。そんな彼女にとって彼女の体は他人に近い存在だ。そんなとき、自分の体とどう折り合いをつけなければいいんだろう。

Q7. 挫折してしまったら？

A7.『死にたいのに死ねないので本を読む 絶望するあなたのための読書案内』

吉田隼人/著 草思社 2021

◆まさにタイトル通りのブックガイド風エッセイ集。「取り上げた書物には、名著とか古典とかいわれる部類のものが多く」のだが、そういった本に挑戦しては挫折しつつ、「それでも読むことによっていくらかでも希死念慮を乗り越えようとする」作者のあがきがあざやかに写し取られている。挫折したり絶望したりしたときに、ぜひ。

Q8. 大学生活を知りたいと思ったら？

A8.『14歳からの哲学 考えるための教科書』 池田晶子/著 トランスビュー 2003

◆部活をやったりバイトをやったりすることだけが大学生活ではない。何より大切なのは「考える」とは何かについて考えてみることではないだろうか。この本では「言葉」「自分とは誰か」「死をどう考えるか」「人生の意味」といった問題が平易にわかりやすく説明されている。自分を理解することは世界を理解することだ。自分が豊かになれば、世界が豊かになる。さあ、考えよう！

Q9. 海外文学に挑戦したいと思ったら？（初心者向け）

A9.『漂泊の王の伝説』 ラウラ・ガジェゴ・ガルシア/作 松下直弘/訳 偕成社 2008

◆舞台は昔むかしのアラビア。ある国の聡明な王子が詩のコンクールで、無学な絨毯織りの男に負け、くやしさとねたみでわれを忘れ、男を宮廷に閉じこめ、大広間いっぱい歴史資料を整理させ、それが終わると、「人類の歴史すべてを織りこんだ絨毯」を織るよう命令する。男は失明するがそれでも織り続ける。ある日、王子は自分の犯した罪に気づいて心から後悔するのだが……さて、物語はここからいよいよ始まる！

選者：三遠ネオフェニックス

◆テーマ：元プロバスケットボール選手が選ぶ「自分を成長させてくれた本」アンバサダーを務める、鹿毛、岡田のおすすめ本を紹介します。

1. 『ゴールドスタンダード 世界一のチームを作ったコーチKの哲学』

マイク・シャシェフスキー/著 ジェイミー・K.スパトラ/著 佐良土茂樹/訳
スタジオタッククリエイティブ 2012

◆バスケットボール界では世界一有名なHCの1人。その考え方が学べる1冊。成功談、失敗談等が書かれている。(岡田)

2. 『SHOE DOG 靴にすべてを。』 フィル・ナイト/著 大田黒奉之/訳 東洋経済新報社 2017

◆ナイキの創業者が書いた本。私がスニーカーが好きなのでナイキがいかにして成功したか興味があった。ナイキと日本の深いつながりも書かれている。(岡田)

3. 『愛されて、勝つ 川崎フロンターレ「365日まちクラブ」の作り方』

原田大輔/著 小学館クリエイティブ 2023

◆川崎フロンターレはなぜ強いのか？強いから愛されているのではなく、愛されているから強い。地域に愛されるスポーツクラブについて考えさせられる本。(鹿毛)

4. 『思考は現実化する』 ナポレオン・ヒル/著 田中孝顕/訳 きこ書房 1999

◆多くの成功者の体験を元に書かれた本。夢や目標を持つ事の大切さやどうやって周りを巻き込みながら計画的に進めていくのかを教えてくれる。(鹿毛)

選者：ブロードキャスト！！吉村憲二さん（豊橋市住みます芸人）

テーマ：芸人本

◆本を出そうとした事があります！どーも！吉本興業の豊橋市住みます芸人ブロードキャスト！！吉村です！本を出してる芸人ってカッコいい、出したいなと思っていたら隣で相方が出していました！僕が出そうとしたのが美容本、書籍化には至りませんでしたけど必ず出します。そんな僕が愛してやまない芸人本の数々。才能あるが故に本を出してる芸人さんは多数、芥川賞からエッセイまで芸達者な芸人本をご堪能あれ！そして幸せになろうよ！！

1. 『火花』 又吉直樹/著 文藝春秋 2015

2. 『夢と金』 西野亮廣/著 幻冬舎 2023

3. 『超現代語訳戦国時代 笑って泣いてドラマチックに学ぶ』 房野史典/著 幻冬舎 2016

4. 『おいしいコーヒーライフ入門 全人類に提唱したい世界一手軽な贅沢』

石井輝明/著 KADOKAWA 2022

5. 『僕の心臓は右にある』 大城文章/著 朝日新聞出版 2022

6. 『39歳の免許合宿 ストーリーは自分で創れ』 ごめたん/著 ワニブックス 2022

7. 『とんねるず大志』 石橋貴明/著 木梨憲武/著 ニッポン放送出版 1994 ★

8. 『マイ・ウェイ 東京ダイナマイト ハチミツ二郎自伝』 ハチミツ二郎/著 双葉社 2022
9. 『遺書』 松本人志/著 朝日新聞社 1994 ★
10. 『芸人雑誌』 太田出版 2020-

選者：伴和幸さん、櫻庭陽子さん、石尾雪乃さん（豊橋総合動植物公園 動物研究員）

テーマ：のんほいパークの動物研究員がおすすめする生き物の本

◆のんほいパークの動物園には飼育員、獣医、そして動物研究員がいます。動物研究員は動物たちの飼育に携わりながら、動物たちを観察して生態を調べている人たちです。今回選んだ本は、生き物について知ることができるものや、動物園の飼育員の取り組みがわかるものです。生き物や、生き物にかかわる仕事に興味を持っていただけたら嬉しいです。

1. 『日本産稚魚図鑑 1、2（第2版）』 沖山宗雄/編 東海大学出版会 2014
2. 『沖縄美ら海水族館はなぜ役に立たない研究をするのか？ サメ博士たちの好奇心まみれな毎日』
佐藤圭一/著 富田武照/著 松本瑠偉/著 産業編集センター 2022
3. 『いのちをつなぐ動物園』 京都市動物園生き物・学び・研究センター/編 小さ子社 2020
4. 『生き物の死にざま』 稲垣栄洋/著 草思社 2019
5. 『見わけがすぐつく野鳥図鑑』 小宮輝之/監修 成美堂出版 2020
6. 『トリノトリビア』 川上和人/監修 マツダユカ/マンガ 川上和人ほか/著 西東社 2018
7. 『くらべてわかる 哺乳類』 小宮輝之/著 藪内正幸/絵 山と溪谷社 2016
8. 『どっちがどっち!? にたものずかん』
今泉忠明/監修 高岡昌江/文 友永たろ/絵 学研プラス 2020

選者：豊橋鉄道株式会社

テーマ：もうすぐ100周年の豊橋鉄道と日本の鉄道を再発見

◆豊橋鉄道は来年(令和6年)3月に創立100周年を迎えます。大正13年の会社創立、翌年の路面電車の運行開始から始まった豊鉄の歴史に触れます。また、車両や路線図、鉄道の仕組みなどが書かれた本で知っているようで知らない日本の鉄道も再発見！

1. 『豊橋鉄道50年史』 豊橋鉄道創立50周年記念事業委員会/編 豊橋鉄道 1974
2. 『豊橋のチンチン電車 夢を乗せて走る市内線の70年』 郷土出版社 1998
3. 『証言渥美線電車機銃掃射』 豊川流域研究会/編 豊川流域研究会 2015
4. 『豊橋いま・むかし 市電のある風景』 伊奈彦定/著 豊川堂 1987
5. 『豊橋今昔市電のある風景 設楽残像なつかしの田口線』 伊奈彦定/著 豊川堂 1996
6. 『市電のある風景 豊橋・平成から未来へ』 伊奈彦定/著 豊川堂 2011

7. 『ガタゴトポン！ トヨッキーのぼうけん』 たかはしゆうじ/さく 豊橋市役所 2022
8. 『鉄道のひみつ図鑑』 スタジオタッククリエイティブ 2019
9. 『日本鉄道地図鑑』 地理情報開発/編 平凡社 2018
10. 『日本のローカル線 150 年全史』 佐藤信之/著 清談社 Publico 2023
11. 『よくわかる最新都市交通の基本と仕組み』
秋山芳弘/監修 阿佐見俊介ほか/著 秀和システム 2023

選者：藤白圭さん（作家）

テーマ：藤白が影響を受けたホラー小説

◆生きているすべてのものたちにとって、最も根源的な感情は「恐怖」である。

「恐怖」によって危機感を覚え、生命を維持する機能を果たすこともあれば、時に快樂すらも感じることもある。逆に、「怒り」「憎しみ」「哀しみ」「歓喜」「狂気」「耽美」「愛」といった、あらゆる感情が「恐怖」の引き金になる。ホラーとはただ単に怖がらせるだけではなく、様々な感情を揺さぶるものであることを知ってもらえたらと思います。

1. 『黒い家』 貴志祐介/著 角川書店 1997
2. 『殺人鬼』 綾辻行人/著 双葉社 1990
3. 『少年少女世界文学館 13 黒猫・黄金虫』 エドガー・アラン・ポー/著
松村達雄/訳 繁尾久/訳 講談社 1987
4. 『怪談』 小泉八雲/著 偕成社 1978
5. 『江戸川乱歩短篇集』 江戸川乱歩/著 千葉俊二/編 岩波書店 2008
6. 『横溝正史全集 8 (八つ墓村)』 横溝正史/著 講談社 1974
7. 『屍鬼』 小野不由美/著 新潮社 2002
8. 『ぼっけえ、きょうてえ』 岩井志麻子/著 角川書店 1999
9. 『絢爛たる屍』 ポピー・Z. ブライト/著 文藝春秋 2003
10. 『20 世紀の幽霊たち』 ショー・ヒル/著 白石朗ほか/訳 小学館 2008
11. 『隣の家の少女』 ジャック・ケッチャム/著 扶桑社 1998
12. 『夏と花火と私の死体』 乙一/著 幡地英明/著 集英社 1996
13. 『パラサイト・イヴ』 瀬名秀明/著 角川書店 1995
14. 『嗤う伊右衛門』 京極夏彦/著 中央公論社 1997
15. 『血の本シリーズ (1~6)』 クライヴ・バーカー/著 1987 ★



選者：道の駅とよはし

テーマ：進化し続ける道の駅を作る方法

◆いつも道の駅とよはしをご利用いただきありがとうございます。道の駅は当初どなたでも快適に休憩ができる施設として開設され、今では全国で 1200 を超える道の駅が登録されており、今後も増加していくことが予想されています。この「道の駅戦国時代」を生き抜いていくためには常に新しいことに挑戦していくことが求められ、道の駅とよはしでは新商品の開発や売り場の編成、アクティビティの新設やふるさと納税の導入などいろんな事に挑戦しているところです。皆さんが何かに挑戦する際の手助けになるような本をいくつか紹介しますので、その一助になれば幸いです。

1. 『虫たちと作った世界に一つだけのレモン』 河合浩樹/著 朝日新聞出版 2016
2. 『TURNS Vol.30 (2018.8)』 第一プロGRESS 2018 ★
3. 『小さなテイクアウトショップ and フードトラックのデザイン』
パイインターナショナル/編著 パイインターナショナル 2022
4. 『シズルのデザイン』 B・M・FT ことばラボ/編著 誠文堂新光社 2017
5. 『D&DEPARTMENT』 ナガオカケンメイ/著 美術出版社 2008 ★
6. 『ふわとろ SIZZLE WORD「おいしい」言葉の使い方』 B・M・FT ことばラボ/編
B・M・FT 出版部 2016
7. 『希望をつくる仕事ソーシャルデザイン』 ソーシャルデザイン会議実行委員会/編著
電通ソーシャル・デザイン・エンジン/監修 宣伝会議 2013
8. 『「売る」から「売れる」へ。』 水野学/著 誠文堂新光社 2016
9. 『コピーライターじゃなくても知っておきたい心をつかむ超言葉術』 阿部広太郎/著
ダイヤモンド社 2020
10. 『売れる!楽しい!「手書きPOP」の作り方』 増澤美沙緒/著 同文館出版 2015

選者：愛知県立時習館高等学校

テーマ：時習館創立 130 年の歩み ～本校ゆかりの作家から読み取る～

◆創立 130 周年を迎える時習館の校名は、論語「学びて時に之を習う、亦説ばしからずや」に由来します。卓越した理数人材を育成する SSH や国際交流を推進するとともに、令和 8 年度からは中高一貫教育と国際バカロレアを導入し、チェンジ・メーカーの育成を目指すなど、先進的な教育にも取り組んでいます。魅力的で特色ある本校で学んだ卒業生の中から、素晴らしい作家の皆さんをご紹介します。時習館 130 年の歩みをお楽しみください。

1. 『夜逃げ町長』 杉浦明平/著 講談社 1990
2. 『丸山薫詩集』 丸山薫/著 思潮社 1989
3. 『一日集』 丸山薫/著 冬至書房 1969

4. 『草木虫魚』 富安昌也/著 富安昌也 1995
5. 『定本草の花』 富安風生/著 東京美術 1975
6. 『長城のかげ』 宮城谷昌光/著 文藝春秋 2022
7. 『湖底の城』 宮城谷昌光/著 講談社 2010
8. 『管仲』(上下) 宮城谷昌光/著 文藝春秋 2006
9. 『二十歳のころ』 立花隆/著 東京大学教養学部立花隆ゼミ/著 新潮社 1998

選者：愛知県立豊橋商業高等学校

テーマ：豊橋市にゆかりのある方の作品を紹介します！

◆私たちの愛する豊橋市にゆかりのある方の作品を集めてみました！読むと元気が出て、私たちにとって誇りに思える作品ばかりです。皆さんもぜひ読んでみてください！

1. 『だもんで豊橋が好きって言っとるじゃん！5』 佐野妙/著 竹書房 2023
2. 『ネネまりの保育日誌』 しみずまりこ/作・絵 文芸社 2023 ★
3. 『累々』 松井玲奈/著 集英社 2023
4. 『カモフラージュ』 松井玲奈/著 集英社 2021
5. 『ひみつのたべもの』 松井玲奈/著 マガジンハウス 2021

選者：愛知県立豊橋東高等学校

テーマ：ピックアップ！豊橋東の魅力！！

◆この本棚は豊橋東高校について知ってもらいたい！という思いから作られました。東高校ってどんなところなの？どんな行事があるんだろう？卒業生はどんな人？東高生はどんな本を読んでいるんだろう？という疑問を解決できるような本を選んでみました。

豊橋東高校は魅力がたくさん！その魅力の一部が手に取ってくださるみなさんに届くように精いっぱい考えました。ぜひ読んでみてください！

1. 『1リットルの涙』 木藤亜也/著 幻冬舎 2005

◆東高校も舞台になったあの感動的なエッセイ

2. 『カルピスをつくった男 三島海雲』 山川徹/著 小学館 2018
3. 『カルピス社員のとっておきレシピ』 カルピス株式会社/監修 池田書店 2011

◆東高校に伝わる カルピス告白 を支える カルピス のお話

4. 『ひがし文化財図録 2022 創立 120 周年記念 未来に希望をつなぐ』

愛知県立豊橋東高等学校創立 120 周年記念事業実行委員会/編集

愛知県立豊橋東高等学校創立 120 周年記念事業実行委員会 2022

◆東高校について少しでも知っていただきたい…！

5. 『夕日が青く見えた日 「ピカソが未来を託した画家」が語る本物のアート思考』

松井守男/著 フローラル出版 2021

◆作者が東高校出身なのです！

6. 『青のオーケストラ』 阿久井真/著 小学館 2017

7. 『最後の女学生』 豊橋市立高等女学校四五会/編 豊橋市立高等女学校四五会 1995

◆毎年東高校で読み継がれている、平和の大切さを教えてくれる本

8. 『エール 上』 清水友佳子/作 嶋田うれ葉/作 吉田 照幸/作 中川千英子/ノベライズ

NHK 出版 2020

『エール 下』 林宏司/原案 清水友佳子/作 嶋田うれ葉/作 吉田照幸/作

中川千英子/ノベライズ NHK 出版 2020

◆ドラマ化の際、東高校のOGが出演しました！

9. 『こころ 小説』 夏目漱石/原作 有栖サリ/挿画 文響社 2021

◆東高生に人気な本 No.1！

10. 『蜘蛛の糸 芥川龍之介作品集』 芥川龍之介/作 東直子/編 秋赤音/絵 ポプラ社 2023

◆短編ながらもどこか読み返したくなる一作。こちらも東高生に人気です

11. 『medium 霊媒探偵城塚翡翠』 相沢沙呼/著 講談社 2019

◆長編であるにも関わらず、東高生を魅了したミステリー小説

12. 『流浪の月』 凧良ゆう/著 東京創元社 2019

◆世界から否定された男女の予測不可能なストーリーが魅力

13. 『かがみの孤城』 辻村深月/著 ポプラ社 2017

◆映画化により話題沸騰中！東高校でも頻繁に貸出が行われています

14. 『告白』 湊かなえ/著 双葉社 2010

◆衝撃のラストで飾られたサスペンス小説。学校が舞台の事もあり、東高校でも読み親しまれています

15. 『人間失格 小説』 太宰治/原作 森稟/挿画 文響社 2021

選者：齋藤敏さん（豊橋市図書館館長）

テーマ：ミクスチャーの魅力 ～新しいものとの出会い～

◆ミクスチャー、コラボ、ハイブリッド、異色の組み合わせ・・・呼び方は様々ですが、思いもよらないもの同士が出会い、化学反応を起こして生まれたものには、発見した嬉しさや驚きがあります。

「なるほど」と唸ったり、「こういうの待ってました！」って喜んだりした経験ありませんか？そして、自分だけが知ってる的な気持ちになりますよね。そういう気持ちをイメージして、ジャンルにこだわらないミクスチャー空間を作ってみました。

1. 『ヘッドバン Vol.40』 シンコーミュージック・エンタテイメント 2023

◆道なき道を切り開く唯一無二の存在「BABYMETAL」と世界的大注目株の「花冷え。」など今注目のバンドが勢揃い！

2. 『ヘッドバン Vol.34』 シンコーミュージック・エンタテイメント 2022

◆「ミクスチャー」への誘い。新世代ミクスチャーも含む充実の一冊！

3. 『デヴィッド・ボウイ・イズ 復刻版』 ヴィクトリア・ブローズ/著

ジェフリー・マーシュ/著 野中モモ/訳 スペースシャワーネットワーク 2017 ★

◆サウンド&ビジョンのメジャーなカルトスター

4. 『ハリウッド式映画制作の流儀 最後のコラボレーター=観客に届くまで』

リンダ・シーガー/著 シカ・マッケンジー/訳 フィルムアート社 2020

◆映画はコラボレーションで成り立っている。

5. 『エンタメビジネス全史』 中山淳雄/著 日経BP 2023

◆日本の「エンタメビジネス」の変遷が分かる一冊

6. 『最強の漫才 東大と吉本が本気で「お笑いの謎」に迫ってみた!!』

東京大学/編 吉本興業/編 講談社 2023

◆プロ同士のタッグで「お笑い」を真面目に分析！！

7. 『猪木戦記 第2巻 燃える闘魂編』 流智美/著 ベースボール・マガジン社 2023

◆「異種格闘技」を定着させた男

8. 『BRUTUS (2022.4.15)』 マガジンハウス 2022

◆料理は世界の共通言語。〈食〉で旅をしよう！

9. 『スパイスの可能性』 古積由美子/著 旭屋出版 2023

◆スパイスがもたらす料理の幅

10. 『ザ・ミクソロジー』 南雲主宇三/著 柴田書店 2019

◆複合芸術の“妙”

11. 『世界のサンドイッチ図鑑』 佐藤政人/著 誠文堂新光社 2017

◆無限に広がる「サンドイッチ」という名の宇宙

12. 『フレーバー・マトリックス』 ジェイムズ・プリシオーネ/著 ブルック・パーカースト/著
目時能理子/訳 中村雅子/訳 SBクリエイティブ 2021

◆計算された意外な組合せから生まれる特別なひと皿

13. 『大人のシンガポール旅』 芳野郷子/著 東京ニュース通信社 2023

◆“ごちゃ混ぜ”文化な都市の魅力

14. 『日曜劇場 VIVANT』(上下) 福澤克雄/原作 蒔田陽平/ノベライズ 扶桑社 2023

◆多くの登場人物、組織、文化、思想が入り交じり、複雑かつ壮大なストーリー展開に大興奮。
「読んでから見るか、見てから読むか。」

15. 『別冊カドカワ総力特集 YOASOBI』 KADOKAWA 2023

◆NEX FEST 出演も話題になった、“小説を音楽にする”YOASOBIの魅力満載♪

16. 【CD】『グレイテスト・ヒッツ』 レッド・ホット・チリ・ペッパーズ/演奏
ワーナーミュージック・ジャパン 2003

◆「ミクスチャー・ロック」時代もメロウも聴けるレッチリベスト盤

17. 【CD】『来世は偉人!』 花冷え。/演奏 ソニー・ミュージックレーベルズ 2023 ★

◆欧米のフェスでもひっぱりだこのミクスチャー・ラウドロックバンド「花冷え。」のメジャーデビュー作。最高の楽曲、ミュージシャンシップで、LIVEパフォーマンスは圧巻。

18. 【CD】『METAL GALAXY -JAPAN Complete Edition-』 BABYMETAL/歌
トイズファクトリー 2019 ★

◆今までの「なんじゃこりゃ」な楽曲にスタイリッシュで世界の音楽を取り込んだ壮大でオリジナリティのあるBABYMETALらしい楽曲が、2枚組全18曲ということをお忘れさせる圧倒的な展開で最後まで一気に聴くことができる名盤 DEATH。



※リストのタイトルは、豊橋市図書館で貸出・予約可能な資料です。

★の資料については、カウンターにてお尋ねください。 2023.11